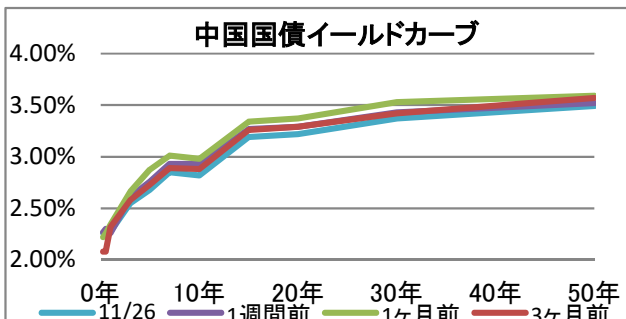
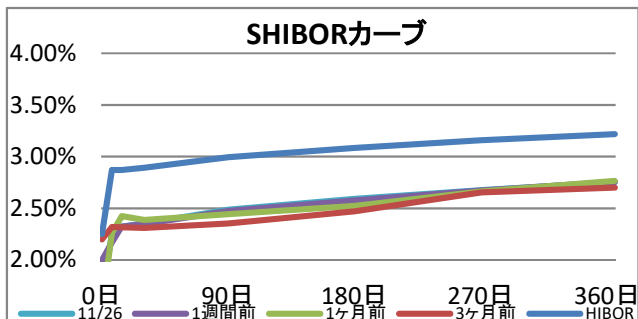


## ①市場概況

| 基準レート  |         | 2021/11/26 | (前週末比)   |
|--------|---------|------------|----------|
| 人民元基準値 | USD/CNY | 6.3936     | +0.0111  |
|        | JPY/CNY | 5.5504     | -0.0340  |
| SHIBOR | 3M      | 2.4860%    | +0.0110% |
| 国債利回り  | 10年     | 2.82%      | -0.11%   |
| 上海総合指数 |         | 3,564.09   | +3.72    |



### (1) 概況

週前半は原油価格高騰やパウエルFRB議長再任により米国でのテーパリング加速を懸念する動きが強まっていたものの感謝祭を前にこの動きも一服。感謝祭後に南アフリカで感染力の強いCOVID-19変異種が確認されるとポジションの巻き戻しが入り、市場参加者が少なく薄商いとなっていたことも手伝って、大幅な株安、債券高、ドル安、原油安に転じている。

中国金融市場では、米国が多くの中企業を禁輸リストに追加したことから米中関係悪化懸念が高まる中、中国政府の不動産関連や民間企業向けの融資に対する規制緩和により安心感が広がり、株式、債券ともに底堅く推移する状況となっていた。しかし、週末を前にCOVID-19変異種の影響に対する懸念から株式市場は下落に転じて前週末水準まで戻し、中国国債利回りは大きく低下している。人民元高への懸念からドル人民元はややドル高方向に戻している。

中国では、習主席が中央全面進化改革委員会において、科学技術力の引き上げや電力市場の整備、小中学校教育における党の指導強化を強調し、李首相は上海視察において改革開放の推進と市場主体の発展環境の整備による経済発展支援姿勢を強調し、国務院常務会で地方債により調達した資金管理の厳格化を求めている。

### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ日2,100億元に対し、新規リバースオペ4,000億元を実施し、1,900億元を供給している。中国人民銀行は、LPR（1年3.85%、5年超4.65%）を19か月連続で据え置いている。

### (3) 主な経済指標

特になし。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

|     | SHIBOR  | 無担保資金   | レポ      | NCD AAA |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| ON  | 1.7120% | 1.7000% | 1.6800% |         |
| 1W  | 2.2470% | 2.4244% | 1.9500% | 2.1500% |
| 2W  | 2.3220% | 3.1000% | 2.5000% | 2.1500% |
| 1M  | 2.3530% | 3.5000% | 3.0000% | 2.1500% |
| 3M  | 2.4860% | 3.8000% | 2.8000% | 2.5500% |
| 6M  | 2.5930% | 3.0000% | 2.9000% | 2.6200% |
| 9M  | 2.6760% |         |         | 2.6800% |
| 12M | 2.7540% | 4.1000% |         | 2.7100% |

中国人民銀行の積極的な資金供給姿勢により資金需給が安定して翌日物が1%台で推移し、不動産関連規制の緩和による信用不安の後退もあって、年末は意識されているものの市場は概ね安定している。ターム物は1ヶ月の2.4%前後での出会いを除き限定的。

NCDも、不動産関連信用不安の後退と国外からの資金流入を背景に活発な取引が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.10%～2.15%、3ヶ月物は2.50%～2.55%、6ヶ月は2.60%～2.65%、1年は2.70%前後で安定している。

### (2) 米ドル資金（本土内）

|     | BID   | OFFER |
|-----|-------|-------|
| ON  | 0.02% | 0.03% |
| 1W  | 0.03% | 0.04% |
| 1M  | 0.08% | 0.10% |
| 3M  | 0.25% | 0.30% |
| 6M  | 0.35% | 0.40% |
| 12M | 0.45% | 0.50% |

年末要因や金融引き締め早期化懸念から金利水準は高止まり傾向。ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.10%前後、3ヶ月は0.25%～0.30%、6ヶ月は0.35%～0.40%での取引が続いているが、出会いは限定的。

### ③人民元債券市場

|     | 国債    | 地方債AAA | 金融債AAA | 社債AAA | 社債AA  |
|-----|-------|--------|--------|-------|-------|
| 3M  | 2.26% | 2.29%  | 2.54%  | 2.65% | 2.94% |
| 6M  | 2.27% | 2.35%  | 2.57%  | 2.70% | 2.99% |
| 1Y  | 2.27% | 2.38%  | 2.70%  | 2.74% | 3.09% |
| 3Y  | 2.55% | 2.79%  | 2.84%  | 3.05% | 3.89% |
| 5Y  | 2.68% | 2.97%  | 3.16%  | 3.39% | 4.36% |
| 10Y | 2.82% | 3.22%  | 3.50%  | 3.75% | 4.73% |

債券市場では、地方債の年間発行額が過去最高を更新する中、中国人民銀行の積極的な資金供給や国外からの資金流入に加え、不動産融資の拡大による信用不安後退により底堅い動きとなり、南アでのCOVID-19変異種が確認されると国債を中心に買いが入り、利回りは一段と低下して10年国債の利回りは2.82%まで低下している。

イールドカーブは、中長期国債を中心に低下しており、国債を中心にブルフラットニングとなり、クレジットスプレッドは中長期で拡大に転じている。

### ④先物為替市場

|     | USD / CNY       |
|-----|-----------------|
| 1W  | 43.4 / 43.9     |
| 1M  | 143.2 / 144.5   |
| 3M  | 461.0 / 462.9   |
| 6M  | 866.0 / 869.0   |
| 9M  | 1262.0 / 1266.8 |
| 12M | 1652.0 / 1655.0 |

対ドル基準レートは6.3936と前週末比+111pipsのドル高元安、対円基準レートは5.5504と同-340pipsの円安元高と、ドル、人民元がともに強い状況が続いている。国内市場では、年末に向けた企業の外貨売りによる元高が輸出に与える影響への警戒感が強まっており、やや水準を切り上げて6.39を挟んだ小幅なレンジ内での値動きが続いている。

先物は、米中の金利差に変化がなく、引き続き1年物は1600台半ばでの取引が続いている。

### ⑤金利スワップ

|     | Quarterly<br>7d Repo<br>A/365 | Quarterly<br>3M SHIBOR<br>A/365 A/360 | Annually<br>O-N SHIBOR<br>A/365 A/360 |
|-----|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 3M  | 2.30%                         |                                       | 2.09%                                 |
| 6M  | 2.28%                         | 2.51%                                 | 2.11%                                 |
| 9M  | 2.31%                         | 2.54%                                 | 2.13%                                 |
| 1Y  | 2.30%                         | 2.56%                                 | 2.14%                                 |
| 3Y  | 2.51%                         | 2.86%                                 | 2.33%                                 |
| 5Y  | 2.66%                         | 3.09%                                 |                                       |
| 7Y  | 2.81%                         | 3.27%                                 |                                       |
| 10Y | 2.96%                         | 3.44%                                 |                                       |

スワップ金利は、債券利回りが中長期を中心に低下してフラットニングしたことから、同様にフラットニングしている。ただし、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは国債利回りがポジション調整的に先物主導で大きく下げたことから小幅に拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。